

運転中	反ばつ・跳ね返り防止装置の爪が磨耗して丸くなっている為、ワークが跳ね返り、ワークに押しつぶされる。又はワークが突き刺さる。	反発防止爪は、常に先端が尖っていること、ワークの上面に接していることを確認して下さい。 跳ね返り防止爪は、送材チェーンとの隙間が無い様に調整して下さい。
運転中	機械の騒音・切削音で難聴になる。	防音室に機械を入れて下さい。耳栓を使用して下さい。
運転中	木片が飛んで来て、突き刺さる。	防塵室に機械を入れて下さい。 安全カバーや装置類を正しく取り付けて下さい。 機械の前に自動投入機を装備し、機械の前に立たないで下さい。
運転中	耳材を投入した為、材料が跳ね返りワークに押しつぶされる。又はワークが突き刺さる。	耳材は本機では加工しないで下さい。
運転中	回転している刃物、ローラ、チェーン等に手が触れ手を切る。又は巻き込まれる。	回転部分や動いている部分には手等触れないで下さい。又カバーの隙間から手を入れないで下さい。
運転中	機械にワークを投入、搬出の時、ワークが滑り手を切傷又は、ワークが落下し手足を押しつぶす。	手袋や安全靴を着用して下さい。 自動投入、積み込み装置を設置して下さい。
運転中	ワークが詰まった時、ワークを手で押し機械に挟まれる。	ワークが詰まった場合にはスイッチを切り、誤動作しないように安全を確かめ、回転部が完全に停止した後で原因を調査して下さい。
保守・点検及び異常	刃物軸が停止しない内に、刃物に接触し、手を切るとか切断するなどの重傷事故を起こす。	電源を切っても慣性で刃物はしばらく回転しています。完全に停止してから、刃物交換及び保守・点検をして下さい。
保守・点検及び異常	電源を切らずに作業者が給電充電部に接触し感電。 又は可動部が動き出す。	保守・点検の時は工場の配電盤のスイッチを「切り」の状態にして下さい。他の人が電源を入れる可能性のある時は、電源ケーブルを外してください。
保守・点検及び異常	粉塵をエアダスタで清掃中に、粉塵が飛び散り目や鼻に入る。	保護眼鏡、保護マスクを使用して下さい。
保守・点検及び異常	部品を持ち上げる時、腰を痛めるとか、手足を挟み押し潰される。	重い物は持ち上げ道具や機械装置を用いて作業して下さい。
保守・点検及び異常	部品吊り下げ時、部品が落下し手足又は体を押し潰される。	吊り下げ部品の下へは絶対に入らないで下さい。